



(続編)チャレンジする2学期に ~まわりの人を幸せに~

前回号では、夏休み期間中の小学生の活動から2学期に寄せる思いをお伝えしたところですが、9月の前半だけでも、とてもステキな場面や地域のみなさまからの情報をいただきましたので紹介させていただきます。

みんなのために① (2学期始業式より)

1学期最後の日となった7月20日、2年ぶりに全校児童が体育館に集合しての1学期終業式をおこないました。これまで長らく控えていた校歌斉唱も復活しました。校長の話の後に各学級の代表が1学期を振り返ったことや、今後にがんばりたいことを発表しました。同様に2学期の始まった9月1日にも、2学期始業式のなかで各学級代表の発表の場を設けました。

1年生から始まった発表は、学年が進むごとに堂々としたものになっていきます。そして、ただ言葉を発するだけでなく、相手(聞く人)を意識した話し方にグレードアップしていきます。伝えようとする力が増していくことに感心します。

6年生のAさんは…「いろんな行事をするなかで、6年生としての責任を果たしたい」と語りました。それよりも先に4年生のBさんは…「4年生だけど、6年生の背中を見て学びたい」との意見を発表していました。また、4年生のCさんは…「昨年の運動会は、みんなの応援のおかげでがんばることができた。今年は、自分が応援する立場になって、がんばる人を増やしたい。みんなの力になりたい」と決意を述べました。

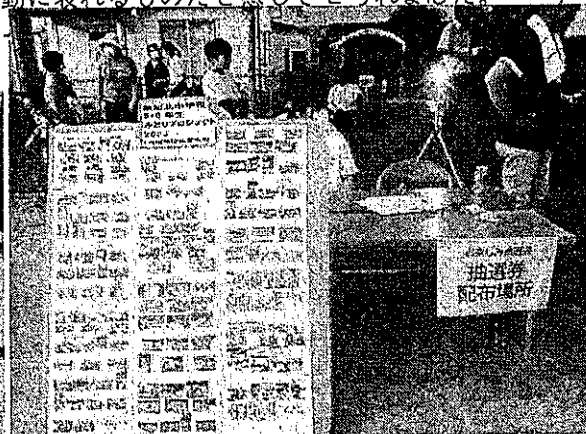
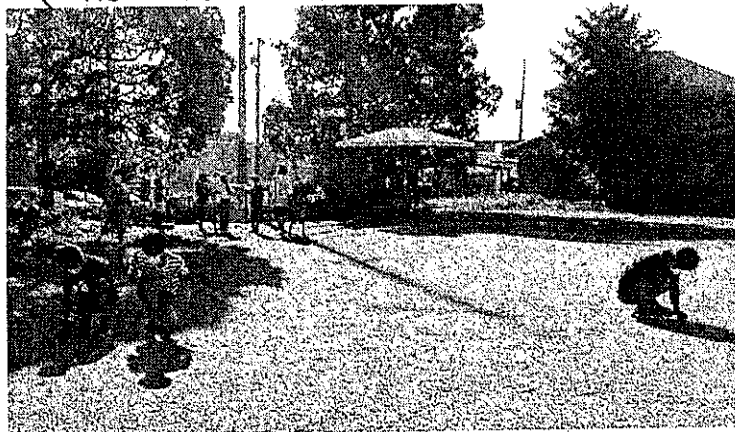
各学年の発表が終わった後、その発表を聞いての感想を求めたところ、6年生のDさんが手を挙げ、4年生のCさんの発表に触れて発言をしました。「応援しようとする心に賛同し、自分もがんばるので、みんなもがんばってほしい」というメッセージを付け加えました。酷暑のなか、久しぶりに登校した子どもたちが、元気になれるようなエネルギーにあふれた始業式を終え、2学期がスタートしたのでした。

みんなのために② (夏祭りのあとに)

夏休み期間中の8/27(日)には、平井区で夏祭りが開催されました。多くの区民のみなさまが一堂に集まり、盛大な催し物となりました。5,6年生の地域学校協働活動(みどりプロジェクト)も、祭りの一部を担わせてもらい、小学生が「わたあめ」を地域住民のみなさんにふるまったり、輪投げゲームを幼い子どもたちに勧めたりといった活躍を見せていました。(先輩である中学生もアイスクリームの店で活躍していました。)

さて、その翌日の早朝の子どもたちの行動について情報をいただきました。これもみどりプロジェクトで取り組んだラジオ体操での出来事です。前夜の祭りに出てしまったゴミを、誰からということなく自主的に拾い集め出したということです。1学期からの準備期間を経て、当日の夏祭りを迎え、地域の住民と接して充実した時間を過ごした子どもたちが、それだけに終わらずに多くのゴミを拾おうとする姿に感動した、そのように教えてくださった方がいます。

「そのゴミ拾って!」と頼むと、「ワタシじゃない」という答えが返ってくることは日常にあることです。でも、そんな依頼を受けなくても自主的に行動するほどに心が成長していることを嬉しく思います。企画・準備・実践を通して学んだことが行動に表れるものだと感じさせられました。



みんなのために③ (敬老の日に)

夏休み期間中の「みどりプロジェクト」(地域学校協働活動)の取組については、一部を紹介したところですが、9月にも活動をしていただいている地域があります。霜降では、9/18(月)に『敬老の日・お祝い事業』を開催されました。小学生が心を込めて作った折り紙をプレゼントし、お名前を紹介し合い、会話を交わし、高齢者とともに健康体操をするなどして、子どもたちがお茶とお菓子を参加者に配って楽しい時間を過ごすことができました。

このような行事は、他の自治会でも行われていることではないでしょうか。自治会役員等による企画・準備・進行といった形が通例のところ、小学生の活躍する場を作っていただきました。感染症対策で、しばらく実施を見合わせていた行事かもしれませんが、きっと高齢者のみなさまや関係者の方々も例年とは異なる雰囲気気分を和ませていただいたものと想像しています。

みどりプロジェクトの授業(毎週金曜日)は、1学期に終了しましたが、今後も気軽に小学生に声をかけていただき、地域のなかで活躍の場を設けていただければ幸いです。



みんなのために④ (下校中に見せる姿)

ア)9月8日(金)のことです。地域のスクールガード(深溝)の方から学校にFAXが届きました。その内容は…

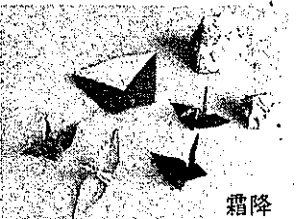
「今日、1,2年生の下校の見守りに行きました。針江区内で出会ったのですが、いつもより人数が少なく感じたので、そのことを尋ねてみると、「後ろにいるかも?」という答えが返ってきました。心配になって見に行ってみると、3人の子が歩いていました。2年生のEちゃんと1年生のFちゃんがナイロン袋を持っていて、その中にはゴミが入っていました。2年生のEちゃんが、カバンのなかからナイロン袋(「何か必要になった時に使うんだよ」とお母さんが入れてくれたもの)を取り出して「ゴミを拾って帰ろう」と言うと、1年生のFちゃんが「わたしもする」と賛同したようです。ゴミを拾うことに集中するうち、通学班のみんなと離れてしまったようです。もう一人1年生のGちゃんは、二人にずっとついてくれていたようです。こんなステキな姿がありました。」

というものです。連絡をいただかなければ、学校としては知る由もないところでした。そんな嬉しい知らせをいただき、学校内では情報を共有したのですが、保護者や地域住民のみなさまにも知っていただきたく紹介させていただきます。

地域のなかで小学生の行動について気になること、今回のような善い行いはもちろん、改善すべきことも遠慮なくお知らせください。どちらも立派な大人に育つために必要な情報です。地域のみなさまに支えられて子どもたちが成長することを実感できます。

イ)同じ週に、もう一つ嬉しい電話がありました。実は同じことが1学期にもあったのですが、このような形で地域のみなさんと共有することをしていませんでした。饗庭地区でバス通学をする6年生のHさんは、自分が下車するバス停よりも前の停留所で下車する住民の方を気遣って、その荷物を持って手伝ったことがあり、その姿に感心した女性が学校へ電話をくださいました。夏休みが終わってバス通学が再開して間もない頃に、1学期と同様の気遣いをするHさんの姿を学校の職員にも知らせようと再度のお電話をくださいました。

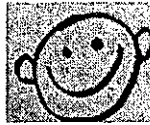
昔に比べると世の中の人間関係は一変しました。各地でいろんな犯罪が発生した経緯もあり、大人が知らない子どもに声をかけることすら躊躇してしまう社会になってしまいました。そんな日常を過ごしながら、小学生から親切な声をかけられたら、どのように返したらいいのか迷ってしまいそうです。でも、こんな時代にも自然に会話を交わし、親切な行動ができる、そんな子どもが北小学校にはいます。胸を張りたい気分です。



霜降

10月 学校行事予定

4日 (水)	委員会活動	16日 (月)	振替休業
5日 (木)	学年費口座振替(6年)	18日 (水)	クラブ活動
	希望の会の日	20日 (金)	引き渡し訓練
9日 (月)	スポーツの日		3年生ひびきあい活動
13日 (金)	下校時刻変更(前日準備)	23日 (月)	マラソン練習開始
14日 (土)	運動会	24日 (火)	2年生校外学習
15日 (日)	家読の日	27日 (金)	1年生校外学習



運動会 ～みんなが『ひとつ』になった～

数日前に出されていたマークを吹き飛ばし、さわやかな秋空のもとで運動会を開催することができました。

運動会の日、毎年目頭が熱くなる思いをします。しかも、毎年異なった感動が、そうさせてしまうのです。2020年は、コロナ対応が始まり、夏休みが縮小され、校舎が工事中という「制約」がまん」のなかで、大人を元気づける姿に感動しました。2021年もマスクをしたままの運動会でしたが、残暑対策で10月に変更していたことにより暑さとのたたかいは軽減されました。この年は、何人もの6年生が涙を流す運動会でした。本人たちも「なんで泣いているのかわからない」と言いました。全力を出したこと、その感激が身体に現れたのでしょうか。2022年は、学級閉鎖で10月下旬に延期となる異例の年でしたが、練習中から児童がマイクを持って指揮する場面がたくさんあり、当日に立派な演技を成功させたこと、全校児童での応援合戦を復活させたことで成長できた姿に感動しました。

そして2023年、今年もまったく異なることに感動を覚えました。当日はPTA広報委員の方々にもたくさんの写真を撮影していただきましたが、競技する姿は委員さんに任せて、テントで応援する姿をできる限り写真に収めたいと思っていました。ところが、集団演技中は、そのことを忘れて演技に夢中になってしまいがちです。でも今年は、そのことを忘れさせない児童の姿があったのです。1,2年生の演技中には、テント全体から手拍子が起こり、全校児童すべてが参加しているかのような光景がありました。(写真左) 長年運動会を見てきましたが、こんなことは初めてかもしれません。「この一体感なんだ!」と驚くばかりでした。また、5,6年生の演技中には、うってかわって静かに、瞬きもせず惚れ惚れしながら見入る姿がありました。時には感嘆の声が漏れ聞こえてきました。(写真右) これらの姿、とくに3,4年生は、「自分が歩んできた道をいとおしく思い、これから自分が歩み行く道にあこがれを抱く」ような姿を見せたのです。こうして異学年がつながり、見る人を感動させる、そんな素晴らしい時間をともに過ごせた幸せを感じました。

この期間に果たした成長を、次のチャレンジへのエネルギーに変え、学校生活を歩んでほしいと願います。保護者・地域住民のみなさまのあたたかい声援・見守りが大きな力になることは言うまでもありません。今後ともどうぞよろしく願いいたします。



1,2年 演技中



5,6年 演技中

11月 学校行事予定

1日 (水)	校内人権月間(～12/4)	17日 (金)	修学旅行(～18日)
2日 (木)	マラソン大会	20日 (月)	6年振替休業
3日 (金)	文化の日	21日 (火)	3年校外学習
6日 (月)	希望の会の日 学年費口座振替(全学年)	23日 (木)	勤労感謝の日
7日 (火)	5年校外学習	24日 (金)	PTA実行委員会
8日 (水)	クラブ活動	28日 (火)	ぼっかぼか集会(人権を考える)
9日 (木)	高島市音楽会(4年)	29日 (水)	クラブ活動 学校運営協議会
10日 (金)	4年校外学習 湖西中体験入学	30日 (木)	6年生ひびきあい活動
15日 (水)	委員会活動 大師山ボランティアサークルのみなさま⇒		



9月30日には、PTA環境整備作業で校舎内外を美しくしていただきました。運動会直前の11日(火)には、大師山ボランティアサークルのみなさまが、運動場まわりの除草をしてくださいました。雨が激しく降るなか、南小・北小に分かれての活動でした。このように多くの方に支えられて運動会が成功できたことを忘れてはなりません。

子どもにつけたい力 ～情報を分析する・論理的に表現する～

4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の結果について校内で分析を進め、調査を受けた6年生には10月に個人票を配付しました。この結果から本校で明らかになった傾向についてお知らせします。ただし、この調査は学力の特定の一部分であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。調査の正誤だけに惑わされずに、傾向を知ること、対策を考えることが重要だと考えています。そのため、調査対象は6年生のみですが、学校全体の傾向を表している面もある(昨年度とは異なる面があるのも事実ですが)と考え、学校だよりにてお知らせします。

国語科

基礎的な知識(漢字の書き)にやや弱さがあり、単なる漢字の読む・書くに比べて、「実際の文のなかで正しく使う」ことに課題が見られました。「話し手が伝えたいことや自分が聞きたいこと」の中心を捉える」「目的を意識して、中心となる語や文を見つけて要約する」「敬語について理解する」といった点は優れています。ただ、「原因と結果など、情報と情報との関係付けの仕方、図などの情報から自分の考えを表現する(書く)」といったところに課題が見られました。

算数科

数に関する基礎・基本はおおよそ理解できています。「日常生活の場面で小数のたし算やかけ算を使って、求め方と答えを式や言葉を用いて書き、条件に当てはまるかどうかを判断する」「二つの数量の関係について、表のなかの数字を使って比例の関係ではないことを説明する」ことには優れていますが、「たし算とかかけ算の混合した整数の計算をする」「図形の性質を生かして、高さ・底辺・面積の関係をもとに比較し、その理由を言葉や数を使って記述する」ことには課題が見られました。

子どもの学力(どうすれば克服できる?)

学習や生活の実態をつかむための「児童質問紙」から、本校児童の意識を読み取ります。

○優れている点は…○

- タブレットなどのICT機器を、よく使用している
- 地域や社会をよくするために何かしてみたいと思う
- 今住んでいる地域の行事に参加している
- 自分で計画を立てて勉強をしている
- 学校に行くのは楽しい
- 友達と話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができている
- 自分と違う意見について考えるのは楽しい
- 先生は、あなたのよいところを認めてくれている



●課題が見られる点は…●

- 算数の勉強は好き(ではない)
- 土日など学校が休みの日に、勉強をする時間(が短い)
- 読書は好き(ではない)
- 学校の授業以外で、英語を使う機会があった(なかった)
- 将来、積極的に英語を使うような生活・職業を希望する(しない)
- 同じくらいの時刻に寝ている(いない)



これらの実態から、どのような手立てが必要かについて職員で協議し、実践していきます。

- ◆国語科：正しい日本語に触れさせるため、日常的に読書ができる環境を作る。(図書室を利用した授業、「読書のあゆみ」を利用し友達の好きな本を知る、読み聞かせや読書に浸る時間の増加)
 - ◆算数科：授業の中で既習事項をつなげる授業を工夫する。解き方のヒント、公式などを掲示しながら、問題を繰り返し定着させる。
 - ◆外国語科：外国語指導助手(ザック先生)に物怖じせず話しかける。関わることで英語に興味を持つ、知っている歌を英語で聞く等の環境を作る。
 - ◆規則正しい生活の大切さをひびきあい活動等で取り上げ、共有する。スマホやゲームが脳や身体に与える影響の怖さを知って付き合う。
 - ◆自分の将来に憧れを持てるよう、いろいろな人の話を聞いたり、社会貢献への自覚を促す体験を増やし自信をつけさせたりする。…
- など、取り組むべきことを共通理解し、学年に応じた取組を進めていきます。